

第9回日中韓サミット

「将来の予防・備え・対応に関する共同声明」発出 !!

令和6年5月27日（月）、韓国・ソウルにおいて、「第9回日中韓サミット」が開催されました。

岸田文雄内閣総理大臣、尹錫悦（ユン・ソンニョル）韓国大統領（議長）、李強（リ・キョウ）中国国務院総理）の3名が出席しました。

会議終了後、共同宣言及び付属文書（3カ国知的財産協力の10年ビジョンに関する共同声明、**将来のパンデミックの予防、備え、対応に関する共同声明**）が発出されました。



日中韓サミット記念撮影



共同記者発表

共同宣言には3カ国、3カ国協力を推進する主要分野として、(1) 人的交流、(2) 気候変動への対応などを通じた持続可能な開発、(3) 経済協力と貿易、(4) 公衆衛生と高齢化社会、(5) 科学技術協力とデジタルトランスフォーメーション (DX)、(6) 災害救援と安全という6分野が盛り込まれました。

【将来のパンデミックの予防・備え・対応に関する共同声明】

新型コロナウイルス感染症は、2023年5月に国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態の終了が公式に発表されたにもかかわらず、新たな懸念される変異株の出現の可能性を含め、依然として根強い脅威であり、新興・再興感染症の流行など、新たな健康危機が経済的・社会的発展に及ぼす悪影響に効果的に対応する必要性に留意する必要がある。

日本、中華人民共和国及び大韓民国は、関連の国家戦略の実施と国際協力を強化するための活動を通じて、**将来のパンデミックと公衆衛生危機に積極的に対処する必要がある。**

1. 我々は、ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ（UHC）の達成が国際保健の体制を強化するための我々の取組において不可欠であるとのコミットメントに基づき、国家戦略の一環として、将来のパンデミックの予防、備え、対応を優先する。また、関連する政府の政策や行動計画、例えば、中長期的な国家経済発展、公衆衛生、保健医療サービスのデリバリーシステム及び医療制度改革などが、将来のパンデミックの予防、備え、対応を盛り込んだものとなることを奨励し、支援する。
2. 我々は、世界健康安全保障を強化する観点から、必要不可欠な保健医療資源 への公平なアクセスの重要性を再確認し、公衆衛生上のリスクとニーズに基づく、ワクチン、診断薬及び治療薬を含む感染症危機対応医薬品等（MCM）へのアクセスの公平性を向上させる。これに関して、我々はまた、優先順位付け、研究開発、薬事承認及び製造からラスト・マイルのデリバリー及び国際的な協働まで、MCM に対するエンド・ツー・エンドのアプローチの重要性を認識し、各国間及び各国内の感染症対応能力の格差を縮小するため、医療従事者の能力強化に努める。また、国際機関や関連する資金拠出を通じてグローバルな取組に参加することにより、感染症から世界をより安全にすることに貢献する。
3. 我々は、パンデミックの予防、備え、対応に関連する対策を実施する際に、各セクターの目標と責任を明確にする必要性を強調し、感染症の流行への対応において多分野にわたるアプローチを強化する重要性を強調する。
4. 我々は、ヒト、動物及び生態系の健康のバランスをとり、最適化することを 目的とした統合的かつ統一的なアプローチであるワンヘルス・アプローチが、新型コロナウイルス（SARS-CoV-2）の新たな懸念される変異株の出現を含む病原体による新興・再興感染症及び薬剤耐性など、将来のパンデミックや公衆衛生危機を予防し、備え、対応する上で重要な概念であることに留意する。我々は、国、地域及び世界の健康安全保障を強化するために、ワンヘルス・アプローチを通じて、多分野にわたる積極的な参加を奨励する。

（一部抜粋）

2024年5月31日

福岡ワンヘルス協議会・事務局